

ニュースリリース

ご担当者様 各位

2011年8月



ケニアで東アフリカ最大規模のコンテナターミナル 「モンバサ港建設工事」を受注

東洋建設株式会社（社長 毛利茂樹）は、ケニア共和国ケニア港湾公社発注のモンバサ港開発事業のうち、「パッケージ1 モンバサ港コンテナターミナル建設工事」を単独受注し、7月5日に契約調印式が執り行われました。受注金額は約209億円、工期は48ヶ月で、ケニア共和国のみならず東アフリカ最大規模の港湾工事となります。

本事業は、日本政府が国際協力機構（JICA）を通じて供与する円借款により実施され、本邦技術活用条件（STEP：Special Terms for Economic Partnership）の適用を受け、軟弱地盤対策等日本の高い港湾建設技術が要求されるものです。

当社は、日本政府の打ち出した新成長戦略を踏まえ、「パッケージ型インフラ輸出」プロジェクトへの参画を新中期経営計画に盛り込むなど、海外事業への取り組みを強化しているなか、本事業の受注に至ったものであります。

ケニア第2の都市モンバサ市にあるモンバサ港は、インド洋に面する入り江を利用したケニア唯一の国際貿易港であり、同国だけでなく、ウガンダやルワンダなど近隣の内陸国を含む東アフリカ地域全体の経済発展を支える港です。

近年、東アフリカ地域の経済成長は目覚ましく、これに伴ってコンテナ貨物量の増加も顕著となっており、2010年に70万TEU*であった同港におけるコンテナ貨物取扱量は、2015年には96万TEUに達すると見込まれています。この成長を持続するためにも、物流拠点たるモンバサ港の能力アップは重要な施策と位置づけられ、JICAを通じて日本政府による支援として実施されるのが本事業であります。

主な工事内容は、水深-11m 延長210mの栈橋式No.20岸壁、水深-15m 延長350mの栈橋式No.21岸壁、水深-4.5m 延長283mの重力式岸壁、埋立工及び地盤改良工を含む約50ヘクタールのコンテナヤードの造成、アクセス道路、軌道、建屋15棟を建設するものであり、これにより新たに年間45万TEUのコンテナ受け入れ能力の向上が見込まれています。

また本工事においては、建設工事に伴う労働者流入によるHIV/エイズの感染拡大を防ぐため、現地NGO等と協力し、建設工事従事者、発注機関職員、地域住民等を対象に、啓蒙のためのセミナー開催や発注機関医療部門の能力強化等を行うなど、非常に社会貢献度の高い工事でもあります。

本件は、当社にとってアフリカ第1号受注案件となります。今回の受注は、価格のみならず当社の技術と施工実績が高く評価されたものであり、わが国の代表として日本の高い港湾建設技術を同国関係者に移転してまいります。

当社は、大いなる決意と志をもって、この東アフリカ最大規模の港湾工事をやりとげ、アフリカにおけるわが国企業の大規模港湾施設整備事業の先例として確かな成果を収め、さらなる事業展開への土台とすべく、全社一丸となり当社の技術力を総結集して工事を進めてまいります。

* TEU (twenty-foot equivalent unit、20フィートコンテナ換算) は、コンテナターミナルの貨物取扱数を示す。

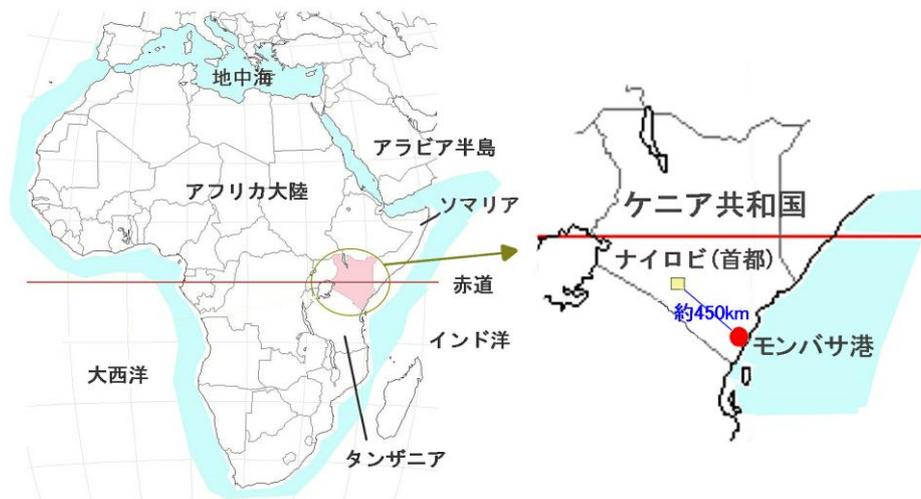
<工事概要>

N0.20 岸壁	水深 -11m 延長 210m
N0.21 岸壁	水深 -15m 延長 350m
重力式岸壁	水深-4.5m 延長 283m
埋立工	3,700,000m ³
地盤改良工	5,367,000m ³
付帯設備工	上下水道、電気、耐火設備他
建築工	RC 1F~4F 15棟
道路工、軌条工、セキュリティシステム・情報システム工、既設配管移設工	各1式

●施工上の特徴

埋立材料は外洋海底地盤より採砂します。現地盤には厚い軟弱層が堆積しており、国内で広く採用されている PVD 工法を使用することで、軟弱な粘性土地盤の圧密を促進することができ、急速施工を可能にしております。

<モンバサ港位置>



<完成イメージ>



問い合わせ先 東洋建設株式会社企画部 濱田 敏弘
電話 03-6361-5461 FAX 03-5530-2901